

調査番号 0659

調査名 時短アンケート, 2003

本調査票を引用する際には出典を明記して下さい。

- (注)・単位は特に表示のない限り%。
 ・報告書にない集計結果は数値を表示していない。
 ・各設問項目において、無回答は集計から除いている。

設問1 [SSJDA注：非公開]

設問2 性別

①男性 90.3 ②女性 9.6

設問3 年齢

年齢を記入してください

(平均 36.30 歳)

25歳未満	4.0
25～29歳	16.1
30～34歳	27.2
35～39歳	22.8
40～44歳	12.8
45～49歳	9.1
50～54歳	5.7
55歳以上	2.3

設問4 勤務地の所在地

①北海道	4.4
②東北(青森、岩手、秋田、山形、宮城、福島)	4.9
③北関東(群馬、栃木、茨城)	3.0
④南関東(東京、千葉、埼玉)	35.4
⑤神奈川	5.4
⑥中部(愛知、三重、岐阜、静岡、長野、山梨)	11.2
⑦北陸(新潟、富山、石川、福井)	2.9
⑧関西(大阪、兵庫、京都、奈良、滋賀、和歌山)	17.6
⑨中国(岡山、広島、山口、島根、鳥取)	5.3
⑩四国(香川、愛媛、徳島、高知)	2.2
⑪九州(福岡、佐賀、熊本、長崎、大分、宮崎、鹿児島)	7.0
⑫沖縄	0.3
⑬その他	

設問5 職種

①内勤建築系技術職	13.1
②内勤土木系技術職	7.4
③外勤建築系技術職	20.3
④外勤土木系技術職	25.2
⑤技術研究職	1.6
⑥内勤事務職	19.0
⑦外勤事務職(出張所、作業所勤務)	3.0
⑧営業職(開発も含む)	8.5
⑨内勤その他(具体的にお書きください)	1.3
⑩外勤その他(具体的にお書きください)	0.7

(設問 5 で、①②と答えた方に)

設問 6 内勤技術系としての職種の細目

- | | |
|-----|------|
| ①設計 | ②見積 |
| ③設備 | ④その他 |

設問 7 職務 (役職)

- | | |
|---|------|
| ①部課長、営業所長・出張所長・作業所長 (いずれも部課長待遇を含む) クラス | 17.5 |
| ②係長、作業所副所長、主任等の次席クラス | 34.7 |
| ③課員、係員等、特に役職のない方 (現在 OA オペレーター等をされている場合でも、資格上総合職・一般職に区分されている方を含みます) | 46.7 |
| ④オペレーター等技能職の方 | 0.2 |
| ⑤その他 | 0.9 |

設問 8 時間外手当

- | | |
|---------|------|
| ①支給対象者 | 67.4 |
| ②支給非対象者 | 32.6 |

(設問 9~20 は、作業所勤務 (兼務) の方のみ、現在所属している作業所についてお答えください)

設問 9 作業所 (事業所) などの兼務状況

(内勤と外勤等を含めて。例: 支店工事事務と作業所事務を兼任している方は「2つの作業所を兼務」の番号を記入してください) (N=3, 225)

- | | |
|--------------|------|
| ①兼務していない | 89.8 |
| ②2つの作業所を兼務 | 5.3 |
| ③3つの作業所を兼務 | 2.1 |
| ④4つの作業所を兼務 | 0.7 |
| ⑤5つ以上の作業所を兼務 | 2.1 |

設問 10 作業所の形態 (N=3, 312)

- | | |
|-----------|------|
| ①単独 | 55.5 |
| ②JVのスポンサー | 32.4 |
| ③JVのメンバー | 10.1 |
| ④その他 | 2.0 |

設問 11 作業所の配員 (JV の場合は全員) (N=3, 294)

作業所の配員人数を記入してください

(平均 7.18) 人

- | | |
|--------|------|
| 1人 | 7.4 |
| 2人 | 13.4 |
| 3人 | 14.2 |
| 4人 | 11.1 |
| 5人 | 9.9 |
| 6~7人 | 12.6 |
| 8~9人 | 9.1 |
| 10~11人 | 5.9 |
| 12~14人 | 5.6 |
| 15人以上 | 10.8 |

設問 12 作業所の請負金 (JV の場合は全体) (N=3, 283)

①5 千万円未満	3.9
②5 千万円～1 億円未満	3.7
③1 億～2 億円未満	7.6
④2 億～5 億円未満	17.4
⑤5 億～10 億円未満	17.0
⑥10 億～20 億円未満	16.7
⑦20 億～30 億円未満	9.0
⑧30 億～50 億円未満	8.7
⑨50 億～70 億円未満	4.7
⑩70 億～100 億円未満	4.1
⑪100 億円以上	7.2

設問 13 工期 (N=3, 282)

①6 ヶ月未満	9.4
②6 ヶ月～1 年未満	23.0
③1 年～1 年 6 ヶ月未満	19.2
④1 年 6 ヶ月～2 年未満	12.3
⑤2 年～2 年 6 ヶ月未満	10.6
⑥2 年 6 ヶ月～3 年未満	7.4
⑦3 年～4 年未満	8.6
⑧4 年～5 年未満	3.8
⑨5 年以上	5.6

設問 14 発注者 (N=3, 294)

①中央官庁	14.0
②公社公団	13.6
③都道府県	9.9
④政令指定都市	5.7
⑤その他地方公共団体	8.0
⑥民間公益企業 (電力、ガス、電話、鉄道、石油備蓄、その他)	15.7
⑦民間マンション関連のディベロッパー	13.1
⑧その他民間企業	19.9

設問 15 設計者 (N=3, 282)

①自社設計	14.7	②他社設計	85.3
-------	------	-------	------

設問 16 作業所工事分類 (N=3, 323)

①建築工事	40.0
②土木工事	49.8
③土木建築工事	3.8
④改修補修工事 (リニューアル)	3.9
⑤その他	2.5

設問 17 請負契約上の休日条件

①4週8休（完全週休2日制）	22.6		
②4週7休	0.3	③4週6休	4.7
④4週5休	0.7	⑤4週4休	9.5
⑥その他	2.1	⑦明示されていない	60.2

設問 18 実施工程上の休日条件

①4週8休（完全週休2日制）	6.1		
②4週7休	1.1	③4週6休	17.7
④4週5休	7.8	⑤4週4休	41.3
⑥その他	4.2	⑦明示されていない	21.8

設問 19 あなたの勤務する作業所の完全閉所状況（完全閉所…宿・日直以外の職員が出勤した場合は閉所とみなさない）

①閉所した ②閉所していない

	①	②
a. 11月1日（土）	14.8	
b. 11月2日（日）	83.1	
c. 11月3日（月・祝日）	34.0	
d. 11月8日（土）	18.5	
e. 11月9日（日）	81.7	
f. 11月15日（土）	13.5	
g. 11月16日（日）	78.7	
h. 11月22日（土）	27.4	
日建協統一土曜閉所日		
i. 11月23日（日）	79.3	
j. 11月24日（月・振替）	33.5	
k. 11月29日（土）	15.0	
l. 11月30日（日）	78.2	
m. その他		

設問 20 あなたの所属する作業所で、土曜閉所できない理由を3つ以内で選んでください（N=3, 202）

①会社の制度上、休みではない	2.7
②工程が厳しく、土曜閉所を組み込めない	75.0
③竣工までのことを考えると、着工当初より土曜作業を行って工程上の貯金を作りたいため	36.4
④利益を確保するために工程を短縮しているため	17.7
⑤事務処理等が多いので、土曜日に行わざるを得ない	21.7
⑥許認可（道路使用許可等）上、土・日（夜間）作業になる	5.2
⑦改修（改装）工事のため、施設休業日にしか作業できない	5.6
⑧土曜閉所に対して発注者が理解を示さない	5.5
⑨作業所職員内に閉所しようとする意識がない	11.1
⑩上司に土曜閉所の意識がない	10.5
⑪協力業者が休みたがらない（作業員日給制の問題を含む）	28.0
⑫その他（内容を記入してください）	6.4

（設問 21 から全員がお答えください）

日建協では2002年度より、「統一土曜閉所日」を設定して、土曜閉所推進活動に取り組んでいます。「閉所」というと、外勤者が対象とお考えになられるイメージがあると思われませんが、内勤者においても土曜日に仕事をしている方もいらっしゃいます。そのような方たちも含めて、内勤者の方は設問の文言を、自分の所属する部や課などの職場に合う文言に読み替えてお答えください。

設問 21 あなたの職場では 11 月 22 日の統一土曜閉所日の取り組みを実施しましたか

①実施した（日付の読み替えを含む）	41.7
②取り組もうとしたが、実施できなかった	14.0
③実施しなかった	24.7
④知らなかった	19.6

（設問 21 で①と回答された方のみお答えください）

設問 22 統一土曜閉所日をどのように実施しましたか（N=1,043（外勤者のみ））

①当日を閉所とした	84.8
②当日は閉所出来なかったが、11月の別の土曜日を閉所日として実施した	10.0
③当日は閉所出来なかったが、11月の別の平日を閉所日として実施した	4.0
④当日は閉所出来なかったが、12月以降を閉所日として実施した	1.2

（設問 21 で②③と回答された方のみお答えください）

設問 23 なぜ、統一土曜閉所日の取り組みを実施できなかった（しなかった）のでしょうか（N=2,004（外勤者のみ））

①工程が厳しく、土曜日はおろか日曜出勤もしなくては間に合わないから	19.9
②工程が厳しく、土曜日は出勤しないと間に合わないから	52.5
③竣工日・期限が近いために実施できなかった	9.1
④突発的な事情（天候や発注者の希望など）により実施できなかった	7.1
⑤その他（具体的にお書きください）	11.3

（設問 21 で①②③と回答された方のみお答えください）

設問 24 統一土曜閉所日の取り組みは取り組みやすかったですでしょうか（N=2,807（外勤者のみ））

①取り組みやすかった	29.9
②取り組みにくかった	40.1
③わからない	30.0

（設問 24 で①と回答された方のみお答えください）

設問 25 なぜ、取り組みやすかったのですか。2つ以内で選んでください（N=786（外勤者のみ））

①会社や組合から通達や通知などがあったから	57.6
②会社から通達や通知などがあったから	10.2
③組合から通達や通知などがあったから	12.3
④職場の上司の理解があったから	36.8
⑤その他（具体的にお書きください）	23.5

（設問 26 から全員がお答えください）

設問 26 あなたの土曜日の休日取得状況（あてはまるものを土曜日ごとに選んでください）

- ①当日休んだ
- ②当日出勤したが、代休・振休を 11 月末日までに取得した
- ③当日出勤したが、代休・振休は 11 月末日までに取得していない
- ④制度（慣行）上、休みではない

（注：数値は 1「当日休み」と 2「代休・振休で休み」の合計%）

a. 11 月 1 日（土）	65.4
b. 11 月 8 日（土）	63.8
c. 11 月 15 日（土）	61.7
d. 11 月 22 日（土）	67.9
e. 11 月 29 日（土）	61.9

設問 27 あなたの 11 月の代休・振休を含めた土休取得日数（当月以外の土曜日の代休・振休を除く）
（N=6,910）

取得日数（0 日の場合は 0）を記入してください

（本年の土曜日は 5 日です）

（平均 3.08）日

0 日	14.7
1 日	11.6
2 日	13.8
3 日	10.3
4 日	10.4
5 日	39.3

設問 28 あなたはどうすれば土休が取得できると思いますか、3 つ以内で選んでください（N=6,858）

①休日計画表を作成する等、計画的土休取得の方法を実施	25.8
②上司の意識改革	25.1
③発注者の理解	29.1
④土休（土曜閉所）を組み込んだ工程管理	35.2
⑤法的・社会的な土曜日の工事規制	35.6
⑥協力業者との打合せと協力	11.0
⑦会社からの土曜閉所通達	11.4
⑧土休を盛り込んだJV協定	3.0
⑨一斉土休	16.4
⑩業務の効率化	20.4
⑪安全上の法的規制の緩和	1.7
⑫適正な人員配置	43.0
⑬建設作業員の月給制確立	10.6
⑭その他（内容を記入してください）	2.8

設問 29 あなたの 11 月の代休・振休を含めた日曜休日取得日数（当月以外の日曜日の代休・振休を除く）（N=6,924）

取得日数（0 日の場合は 0）を記入してください

（本年の日曜日は 5 日です）

（平均 4.56）日

0 日	2.2
1 日	1.0
2 日	2.4
3 日	4.9
4 日	12.7
5 日	76.9

設問 30 あなたの 11 月の代休・振休を含めた祝日取得日数（当月以外の祝日の代休・振休を除く）
（N=6,843）

取得日数（0 日の場合は 0）を記入してください

（本年の祝日は 2 日です。11/23 は日曜日でカウントし、本年の祝日は 11/3(月)、11/24(月)が対象となります）

（平均 1.36）日

0 日	23.3
1 日	17.0
2 日	59.7

設問 31 2002 年 12 月～2003 年 11 月の年次有給休暇取得日数は何日でしたか (N=6, 816)

取得日数 (0 日の場合は 0) を記入してください

(平均 2.50) 日

0 日	55.1
1 日	5.9
2 日	8.1
3 日	7.3
4 日	3.8
5 日	5.5
6 日	2.3
7～8 日	3.6
9～10 日	3.8
11～15 日	2.1
16 日以上	2.6

設問 32 作業所異動時休暇 (外勤者を対象に、作業所を移る際に付与される休暇・休日) について、あなたの会社には上記の趣旨の制度がありますか

①ある ②ない ③知らない

(設問 32 で ①ある と答えた方に伺います)

設問 33 2002 年 12 月～2003 年 11 月において、あなたは作業所異動時休暇の対象者でしたか

①はい 56.3 ②いいえ 42.6 ③知らない 1.2

(設問 33 で ①はい と答えた方に伺います)

設問 34 2002 年 12 月～2003 年 11 月の作業所異動時休暇の取得日数は何日でしたか

取得日数 (0 日の場合は 0) を記入してください

(平均 1.77) 日

0 日	41.9
1 日	7.2
2 日	17.5
3 日	18.1
4 日	3.9
5 日	7.8
6 日以上	3.7

(設問 35 から全員がお答えください)

設問 35 どうすれば作業所異動時休暇が取得できると思いますか、2 つ以内で選んで下さい

①会社の強力な指導、休暇を指示	60.3
②異動前の作業所長の意識改革	23.9
③異動後の作業所長の意識改革	6.9
④異動辞令発令者の意識改革	15.4
⑤異動日の本人及び作業所への通知の明確化	17.5
⑥取るべき日数、時期の明確化	15.5
⑦早めの異動命令	28.4
⑧制度の周知徹底	6.1
⑨異動時休暇の制度化	11.3
⑩制度化後のフォロー	5.0
⑪その他 (内容を記入してください)	1.3

設問 36 あなたの職場ではノー残業デーの取り組みを実施していますか (N=6, 960)

- | | |
|-----------------------------|------|
| ①実施している (水曜日に設定) | 22.2 |
| ②実施している (水曜日以外に設定) | 4.0 |
| ③ノー残業デーの取り組みを知っているが、実施していない | 65.1 |
| ④ノー残業デーの取り組みを知らないので、実施していない | 8.6 |

設問 37 11月1ヶ月間の実際の所定外勤務は何時間でしたか (休日出勤し、振休・代休を取得できなかった場合はその日の勤務時間を算入する) (N=6, 761)

11月の実際の所定外勤務時間 (0時間の場合は0) を記入してください (1時間未満は四捨五入して、時間単位で記入してください)

(所定外勤務手当支給非対象者も記入して下さい)

(平均 53.21) 時間

- | | |
|--------------|------|
| 0~10 時間未満 | 12.6 |
| 10~20 時間未満 | 9.3 |
| 20~30 時間未満 | 9.7 |
| 30~40 時間未満 | 11.4 |
| 40~50 時間未満 | 9.5 |
| 50~60 時間未満 | 8.9 |
| 60~70 時間未満 | 7.5 |
| 70~80 時間未満 | 5.1 |
| 80~100 時間未満 | 9.7 |
| 100~120 時間未満 | 7.4 |
| 120~140 時間未満 | 3.8 |
| 140~160 時間未満 | 2.6 |
| 160 時間以上 | 2.5 |

設問 38 [SSJDA 注：非公開]

設問 39 あなたが残業した主な理由を3つ選んでください (N=6, 630)

- | | |
|-----------------------|------|
| ①提出書類が多い | 37.6 |
| ②残業手当をあてにした生活設計になっている | 3.2 |
| ③仕事の性格上、早出・残業する必要がある | 33.1 |
| ④工程が厳しい | 23.4 |
| ⑤職務を十分果たしたい | 31.7 |
| ⑥外注業者・協力業者に管理能力がない | 2.8 |
| ⑦仕事量が多く時間内に処理できない | 54.1 |
| ⑧職場の雰囲気でなんとなくやっている | 5.4 |
| ⑨終業時間間際に業務を指示されたため | 4.3 |
| ⑩会議の時間が多い | 5.8 |
| ⑪ISOで業務量が増えた | 6.2 |
| ⑫配置の人員が少ない | 27.7 |
| ⑬緊急な仕事が多い | 26.0 |
| ⑭契約範囲以外のサービス業務が多い | 3.9 |
| ⑮その他 (内容を記入してください) | 4.3 |

設問 40 サービス残業はどうして起こると思いますか、2 つ以内で選んで下さい (N=6, 879)

①使用者側がきちんと労働時間管理を行っていないから	32.7
②労働者側がきちんと労働時間管理を行っていないから	12.4
③期限までに、きちんと仕事を仕上げたい、納得できる仕事をしたいから	31.6
④適正な工期設定ができていない	23.0
⑤付き合い残業の風潮が解消できていない	12.5
⑥建設産業は生産性が低いから	7.0
⑦労働時間に関心がないため	6.8
⑧個人の評価をあげたいから	2.2
⑨目標管理時間があるから	13.0
⑩適正な人員配置ができていない	38.0
⑪その他 (内容を記入してください)	3.6

設問 41 あなたの残業時間を減らすためにはどうしたらよいか、主なものを 3 つ選んでください (N=6, 904)

①職員、組合員の意識改革	28.2
②技術革新による生産性の向上	7.1
③協力会社の育成	10.5
④適正な人員配置	55.7
⑤会社の強い指導	22.9
⑥現場管理者の意識向上	11.9
⑦業務の改善による業務量の削減	35.7
⑧適正な労働時間管理の徹底	17.1
⑨建設作業員の確保	2.6
⑩提出書類の整理、削減	38.5
⑪残業手当に頼らない賃金水準の確保	10.5
⑫法律等による社会的な規制	21.0
⑬職場内の話合いやチームワーク	15.3
⑭その他 (内容を記入してください)	2.6

設問 42 あなたの職場・作業所は、次のどの勤務形態に該当しますか (N=6, 980)

①通常勤務	96.0
②2 交代、3 交代制等の交代勤務制	2.4
③常夜勤	0.6
④変形勤務 (1 勤 1 休)	1.0

設問 43 11 月において、深夜 (夜 10 時～朝 5 時) に仕事をした日は何日ありましたか (N=6, 494)

深夜に働いた日数 (0 日の場合は 0) を記入してください

(平均 1.66) 日

0 日	73.2
1～2 日	8.6
3～4 日	4.6
5～6 日	4.3
7～10 日	5.1
11～15 日	2.3
16～19 日	0.6
20 日以上	1.3

設問 44 11 月における深夜の労働時間は、合計何時間になりましたか (N=6, 401)

深夜に働いた合計時間（0 時間の場合は 0）を記入してください（1 時間未満は四捨五入して、時間単位で記入してください）

（ 平均 4.20 ）時間

0 時間未満	72.1
1～5 時間未満	6.0
5～10 時間未満	6.5
10～15 時間未満	5.2
15～20 時間未満	2.3
20～30 時間未満	3.6
30～40 時間未満	2.0
40～50 時間未満	1.1
50 時間以上	1.2

設問 45 建設産業全体で労働時間を短縮するためにはどうしたらよいか、主なものを 3 つ選んでください（N=6,914）

①経営者の意識改革	27.7
②協力会社の育成	12.6
③産業の社会的地位の向上	14.6
④建設産業に働く者の意識改革	25.0
⑤行政及び労使一体となった取り組み	27.5
⑥行政官庁の強力な指導	21.5
⑦発注者による適正工期の設定	54.9
⑧受注時期の平準化	10.6
⑨請負体質の改善	23.6
⑩受注競争の適正化による採算性の向上	26.3
⑪建設作業員の確保策の充実	5.0
⑫建設作業員の月給制の確立	8.9
⑬法律等による社会的規制	25.6
⑭その他（内容を記入してください）	1.0

（設問 45 で ⑬法律等による社会的規制 と答えた方に伺います）

設問 46 法律等による社会規制とはどのようなことですか（N=1,740）

①労働基準法罰則規定の強化	62.2
②労働基準法違反企業の公表	21.6
③時間外労働手当の割増率の増加	8.4
④休日出勤手当の増加	4.3
⑤その他（内容を記入してください）	3.5

設問 47 労働時間を短縮するため、労働組合に対してどのような制度等の改善を望みますか、主なものを3つ選んでください (N=6,744)

①フレックスタイム制度（コアタイム以外の出退勤は自由であり、週間・月間勤務時間を管理する）の導入	21.5
②異動時休暇制度の充実	22.2
③ノー残業デーの制度化	24.2
④時差出退勤制度（時差出退勤を行うが、1日の勤務時間は変わらない）の導入	12.2
⑤年末年始休暇（休日）の増加	23.1
⑥代休取得のための環境整備	40.0
⑦ゴールデンウィークの休暇の増加	12.8
⑧完全週休2日制の導入、定着	32.2
⑨年次有給休暇の計画的付与制度の導入	23.6
⑩夏季休暇（休日）の増加	15.2
⑪時短に対する意識改革運動の強化	23.6
⑫年間休日の計画的取得（休日のカレンダー化）の推進	13.2
⑬半日年休制度の導入	8.9
⑭その他（内容を記入してください）	2.8

設問 48 あなたは現在の建設業に魅力を感じていますか

①大いに魅力を感じる	5.7
②まあ魅力を感じる	33.7
③あまり魅力を感じない	47.6
④まったく魅力を感じない	13.0

（設問 48 に①・②と答えた方にお聞きします）

設問 49 どのような点に魅力を感じますか。3つ選んでください（中でも「とくに」感じる点は解答欄の二重四角に記載してください）

	(3つ選択) ↓ (N=2,714)	(特に魅力を感じる点) ↓
①個人に任せられる仕事の幅が広い	39.5	23.4
②産業に将来性がある	2.1	0.8
③活力のある産業だ	5.7	2.2
④全般的に労働条件が良い	2.1	0.9
⑤仕事に安定性がある	3.4	1.5
⑥創造する喜びがある	67.4	36.1
⑦産業の社会的役割に誇りを感じる	32.5	10.9
⑧建設したものが後世に残る	57.1	16.2
⑨多くの人と共同して仕事をする喜びがある	40.8	5.1
⑩自分の能力が生かせる	18.8	2.7
⑪その他（内容を記入してください）	0.9	0.3

(設問 48 に③・④と答えた方にお聞きします)

設問 50 建設業に魅力を感じない理由を3つ選んでください(中でも「とくに」感じない点は回答欄の二重四角に記載してください)

	(3つ選択) ↓ (N=4,151)	(特に魅力を感じない点) ↓
①前近代的な体質が残っている(具体的に記入してください)	14.9	9.7
②賃金水準が低い	40.7	24.3
③人事諸制度(人事考課、職制・職格制度等)が不十分	11.1	3.4
④労働時間(所定内・外)が長い	44.5	19.1
⑤福利厚生面での待遇が悪い	7.3	1.3
⑥受注時の不透明さ等、建設業における商慣習が不明朗	19.1	6.3
⑦建設業の請負体質(対発注者)	30.9	7.6
⑧「横並び」「横睨み」意識が強すぎ、企業の独自性が出しにくい	11.1	2.0
⑨男女不平等	5.0	1.4
⑩建設産業の社会に対する貢献度に対して、社会的な評価が低い	33.6	8.5
⑪業務上災害が多い等、危険が多い	8.8	1.0
⑫創造性が発揮しにくい	3.7	0.4
⑬産業の将来像がない	40.7	13.2
⑭転勤・異動が多い	11.5	1.1
⑮その他(内容を記入してください)	1.6	0.7

(設問 51 から全員がお答えください)

設問 51 建設産業が産業の魅力化のために賃金、時短以外で至急取り組むべきことは何だと考えますか、3つ以内で選んでください(中でも「とくに」必要と考える点は回答欄の二重四角に記載してください)(N=6,807)

	(3つ選択) ↓ (N=6,807)	(特に取り組むべきこと) ↓
①産業としての雇用の確保	21.4	14.3
②公共工事入札制度の改善	21.2	10.9
③若年建設従事者の入職促進	24.4	11.6
④不良不適格業者の排除	34.2	16.0
⑤高齢者雇用関係の整備	8.1	1.9
⑥技術化・機械化の促進	21.3	6.3
⑦労働災害の撲滅	17.6	4.2
⑧環境問題への積極的な取り組み	19.8	5.4
⑨発注の標準化	26.0	7.3
⑩女性技術者の入職促進	9.1	1.7
⑪産業のイメージアップ	43.1	15.7
⑫協力業者の施行・安全・経営能力の向上	19.6	3.2
⑬その他(内容を記入してください)	2.3	1.4

設問 52 あなたは「36 協定」という言葉を知っていますか(※36 協定:各職場の時間外・休日労働については労働基準法により、事前に労使で限度時間や回数についての協定を定め、労働基準監督署に届け出ることが必要になっています。これを36 協定と言います)

①知っている 74.0 ②知らない 26.0

設問 53 あなたは職場の「36 協定の内容(時間数)」を知っていますか

①知っている 35.7 ②知らない 64.3

(設問 53 で ①知っている と答えた方に伺います)

設問 54 1ヶ月あたりの協定時間は何時間ですか (N=2,017)

1ヶ月当たりの協定時間を記入してください。

(平均 40.75) 時間

0~20 時間未満	5.0
20~30 時間未満	5.9
30~40 時間未満	29.8
40~50 時間未満	46.0
50~60 時間未満	4.7
60~80 時間未満	4.8
80 時間以上	3.9

設問 55 [SSJDA 注：非公開]

設問 56 [SSJDA 注：非公開]

設問 57 仕事上の疲れは1年前に比べて増していると思いますか

①増している	57.4
②変化はない	32.2
③少なくなっている	5.0
④わからない	5.4

設問 58 健康に対する不安を持たれていますか

①不安がある	68.5	②不安はない	31.5
--------	------	--------	------

設問 59 特にどういう項目に不安を持たれていますか、3つ以内でお答えください (N=4,689)

①職業病への不安	16.1
②職場の喫煙問題	11.9
③職場・作業環境への安全面での不安	15.2
④長時間労働による過労ストレス	65.6
⑤交代勤務・変則勤務によるストレス	5.8
⑥心の健康・メンタルヘルス問題	47.8
⑦職場の人間関係	24.8
⑧成人病への不安	45.8
⑨その他 (自由に記入してください)	2.8

設問 60 総労働時間短縮のために、サービス残業を解消する具体的な方法がありましたら記入してください。

別紙回答欄にご記入ください

設問 61 時短に関するご意見をご記入ください。

別紙回答欄にご記入ください

(設問 62～63 は、建築作業所勤務の方のみ、現在所属している作業所についてお答えください)

し烈な低価格競争により工事単価が下がっている状況下、生産性（金額）は一人当りの業務量を示す指標とは言いがたい状況となっています。そこで、建築工事に従事する方々の一人当りの業務量を調査し、建築工事における生産性を示すうえでの指標として活用していきたいと考えています。以下の設問にお答えください。

設問 62 現在の施工中の建物用途をお答え下さい（複合施設の場合は該当するものすべてを選んでください）

- | | |
|-----------|-----------|
| ①共同住宅（分譲） | ②共同住宅（賃貸） |
| ③事務所 | ④店 舗 |
| ⑤工 場 | ⑥倉 庫 |
| ⑦劇場、映画館 | ⑧競技場、体育館 |
| ⑨学校・教育施設 | ⑩病院・養護施設 |
| ⑪庁舎、官舎 | ⑫その他 |

設問 63 現在の工事の規模をお答え下さい

a 施工延べ床面積 m^2

b 戸 数 戸

（共同住宅の場合のみ）

ご協力ありがとうございました